

次年度の活動予定および課題など	(次年度の予定) 現在の体制を維持しつつ、活動内容がより効果的になるよう見直しを図る。 (課題等) ①失語症者への支援 実態調査、グループワーク、日中活動等の実施。 ②小児への支援 小児期発症ケースの病態と認知リハビリテーションについてより詳細な検討を継続し、現場の教員との連携を図る。 ③精神科領域における高次脳機能障害者の支援について検討を行う。 ④相談対象者の累積 過年度に相談した患者(利用者)へのフォローアップが必要になっている。 相談窓口とつながりが切れないようにすること。
-----------------	---

<p style="text-align: center;">島 根 県</p>	
支援拠点機関 (電話番号)	【県支援拠点機関】 島根県立心と体の相談センター (Tel 0 8 5 2 - 2 1 - 2 8 8 5) エスポアール出雲クリニック (Tel 0 8 5 3 - 2 1 - 9 7 7 9) 【圏域支援拠点】 (松江圏域) 厚生センター相談支援事業所 (Tel.0852-60-0400) (雲南圏域) そよかぜ館・そよかぜ館別館 (Tel.0854-45-0020) (出雲圏域) エスポアール出雲クリニック (Tel.0853-21-9779) (大田圏域) 亀の子サポートセンター (Tel.0854-84-0273) (浜田圏域) 西部島根医療福祉センター (Tel.0855-52-2442) (益田圏域) 益田市障害者福祉センターあゆみの里 (Tel.0856-31-5100) (隠岐圏域) 太陽 (Tel.08512-2-5699)
支援 Cd (職種)	全県担当 1 名 (心理技術者) 圏域担当者 7 名 (精神保健福祉士、社会福祉士、相談支援専門員)
相談者数 (12 月末)	当事者/家族からの直接相談延べ件数 電話 462 件、来院/来所 681 件、メール・書簡 57 件、その他(訪問、出張、同行等) 266 件 機関、施設等からの間接相談延べ件数 電話 1224 件、来院/来所 154 件、メール・書簡 58 件、その他(訪問、出張、同行) 146 件
活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 7 圏域に相談支援拠点の設置し、各圏域毎にネットワーク会議、ケース検討会議を開催 ・ 支援機関職員を対象とした派遣研修の実施 ・ 新聞等を活用した広報 ・ 研修会の開催(全県、圏域単位) ・ 高次脳機能障がい支援普及啓発ポスター、リーフレットの作成・配布
次年度の活動予定および課題など	【活動予定】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 圏域相談支援拠点を中心とした圏域単位での支援ネットワークを構築する。 ※ネットワーク会議、ケース検討会議(各 4 回程度)を圏域毎に開催 <ul style="list-style-type: none"> ・ 新聞等を活用した広報 ・ 研修会の開催等 【課題】 <ol style="list-style-type: none"> ① 拠点施設、ネットワーク整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ 圏域相談支援拠点におけるアセスメントの充実、専門性の確保 ② 人材育成・普及啓発 <ul style="list-style-type: none"> ・ 一般的な普及啓発研修の充実及び支援関係者の資質向上

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小児高次脳機能障がい者の支援 ・ 地域住民の障がいに対する理解の向上 <p>③ 医療と福祉の連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 圏域相談支援拠点と医療機関との連携の充実
--	--

鳥 取 県	
支援拠点機関 (電話番号)	鳥取大学医学部附属病院（脳神経外科高次脳機能外来） 電話：0859-38-6767
支援 Cd (職種)	1名（社会福祉士）
相談者数 (12月末)	拠点機関 相談対応延べ件数 494件（当事者・家族、医療機関・行政等） 家族会 相談対応延べ件数 359件（当事者・家族、医療機関・行政等）
活動実績	<p><拠点の活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 診断、評価、治療（病棟・外来） ・ 相談支援 ・ 高次脳機能障がい支援者研修会の開催（7月、2月） ・ 地域の支援機関に対して、講演による啓発 <p><家族会の活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 電話や訪問による相談活動 ・ 県内3カ所で家族会定例会を開催 ・ 個別支援会議に参加 ・ 各地域の精神障害者家族会活動参加
次年度の活動予定および課題など	<p><次年度の活動予定></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 外来創設時より受診経過のある方へのフォロー、神経心理検査などによる再評価 ・ 実務者に対する高次脳機能障がいに対する研修会 ・ 相談支援活動、定例会の開催 ・ 各地域でのつながり・支援を密にしていく活動 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機関・施設への高次脳機能障がいに関する理解の啓発 ・ 相談支援後の患者さんに対するフォロー ・ 地域（圏域）ごとの支援機関体制と支援機関（者）間のつながり強化 ・ 家庭内問題の調整が難しく支援が進まない→専門チームの確立が必要 ・ 子どもの高次脳機能障がいの対応が不十分→教育関係者との学習・話し合い

広 島 県	
支援拠点機関 (電話番号)	<p>広島県立障害者リハビリテーションセンター 広島県高次脳機能センター 電話番号 082-425-1455</p> <p>【地域支援センター】 (広 島) 広島市総合リハビリテーションセンター 082-848-8001</p>

	(広島西) 廿日市記念病院 0829-20-2300 (呉) 呉中通病院 0823-22-2510 (広島中央) 井野口病院 082-422-3711 (尾三) 尾道市公立みつぎ総合病院 0848-76-1111 (福山・府中) 脳神経センター大田記念病院 084-931-8650 (備北) 三次地区医療センター 0824-62-6328
支援 Cd (職種)	2名 (社会福祉士・精神保健福祉士、相談支援専門員)
相談者数 (12月末)	支援拠点相談対応延べ件数 1734 件 うち新規相談者延べ件数 225 件 (当事者・家族 95 件 関係機関 130 件)
活動実績	医療リハビリ (入院・外来) 院内家族セミナー (月 2 回開催 延べ 204 名(12 月末)) 高次脳機能障害研修会 (年 1 回 213 名) 地域の研修会への講師派遣 関係機関との連携会議の開催及び参画
次年度の活動予定および課題など	<次年度活動予定> ・拠点施設機能の体制整備 評価、診断、リハビリ、相談支援、啓発活動の継続 高次脳機能障害者入院枠の拡大に伴う課題の整理 ・地域支援ネットワーク活動 広島県高次脳機能障害連絡協議会の開催 地域支援センターとの連携 関係機関との連携 (就労・就学・福祉・医療等) 家族会との連携 ・各種事業への参画 広島県及び東広島市自立支援協議会への参画 雇用関係会議等への参画 職業能力開発校委託訓練における高次脳機能障害支援コースへの支援 <課題> ・地域支援センターの機能強化及び連携強化 ・地域の社会資源の開拓 (地域包括支援センター及び相談支援事業所との連携) ・小児への支援 (発達障害児支援機関や、教育機関、当センター小児科との連携)

山 口 県	
支援拠点機関 (電話番号)	山口県身体障害者福祉センター (083-925-2345)
支援 Cd (職種)	2名 (作業療法士、社会福祉士・精神保健福祉士)
相談者数	直接相談 446 件 (・来所/訪問 305 ・電話/メール/書簡 141)

(12月末)	間接相談 846件 (・来所/訪問 311 ・電話/メール/書簡 535)
活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・やまぐちリハビリの会 (当事者・家族支援グループ) 6回/年間 開催 県立大学演習授業と「やまぐちリハビリの会」のラボ授業 「やまぐちリハビリの会」を通してのボランティア育成 ・高次脳機能外来の受診同行 (2回/月) ・研修会や勉強会等への講師派遣 ・障害者職業センターと共同企画で研修会開催 ・地域自立支援協議会等、地域での各種協議会への参画
次年度の活動予定 および課題など	<p>【活動予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・神経心理学的検査の実施や解釈に関する講習会開催 ・医師向けの「診断書作成の手引き」の作成・効率的配布 ・関係機関と連携しての相談対応 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅に戻った後の認知リハ実施機関の開拓・掘り起し ・就労に向けての訓練機関の開拓・掘り起し ・医療機関との連携強化 ・他障害の相談窓口や支援者との連携、効率的な事業展開 ・小児高次脳機能障害者の普及啓発や支援

4. 研修会等開催実績

【岡山県】

開催日	研修会・講演会の名称 主催者	対象者 参加人数	プログラム内容 講師
H24. 5. 26 H24. 6. 9	ナースのためのリハビリ講座	看護師 300名	テーマ：概論、失行症、失語症、半側無視 講師：種村純
H24. 6. 30 <講師>	旭川荘療育アカデミー (学校法人旭川荘)	26人	テーマ：高次脳機能障害の社会生活の支援 講師：後藤祐之
H24. 7. 1	臨床作業療法研究会	作業療法士 200名	テーマ：記憶障害例の症状解釈 講師：種村純
H24. 8. 5	新潟神経言語障害学セミナー	言語聴覚士 200名	テーマ：失語症言語治療のエビデンス、高次脳機能障害者の支援システム 講師：種村純
H24. 8. 20	岡山県介護支援専門員協会 ステップアップ研修	介護支援専門員 250名	テーマ：高次脳機能障害の高齢者を在宅で支える 講師：種村純
H24. 9. 9	「地域で支える高次脳機能障害～地域リハビリテーションの考え方と実際」	医療、福祉 行政、一般 129名	<p>テーマ①：地域リハビリテーションの考え方 ～障害者から市民へ～ 講師：長谷川幹</p> <p>テーマ②：ケアセンターふらっとが出会った コミュニティ地域で進めるあきらめない回復支援 講師：和田敏子</p>

H24. 10. 13	岡山県早島町 ふれあい講座	地域住民 100名	テーマ：もの忘れに克つ 講師：種村純
H24. 10. 16	小島病院 オープンカンファレンス	医療職 150名	テーマ：高次脳機能障害の理解と診療 講師：種村純
H24. 11. 3	愛媛県高次脳機能障害 拠点機関講習会	医療、福祉 一般 100名	テーマ：圏域を超えて関わった事例について 講師：八木真美
H24. 11. 10	専門職のための KAWASAKI認知症セミナー	医療、介護職 50名	テーマ：認知症診断のための各種神経心理検査 講師：種村純
H24. 11. 24	日本高次脳機能障害学会 サテライトセミナー	医療職 500名	テーマ：標準注意検査法・標準意欲評価法の臨 床的意義 講師：種村純
H24. 11. 25	愛媛高次脳機能障害 リハビリテーション講習会 (愛媛高次脳機能障害 リハビリテーション 講習会実行委員会)		テーマ：高次脳機能障害者の社会的支援 講師：後藤祐之
H25. 1. 12	県北のつどいと岡山県医 療ソーシャルワーカー協 会合同研修会	ソーシャルワーカー 18名	テーマ：岡山県における高次脳機能障害者の支 援について 講師：八木真美
H25. 2. 5	岡山県高次脳機能障害 支援研修会	医療、福祉 介護、行政 40名	テーマ：高次脳機能障害の特性 岡山県内における取り組み 高次脳機能障害者の支援 講師：種村純、八木真美、後藤祐之
H25. 3. 9	高次脳機能障害講習会 地域支援ネットワーク 中国ブロック研修会	医療、福祉 行政、一般	テーマ①：高次脳機能障害 ～社会的行動障害の治療と支援 テーマ②：岡山県精神医療機関における高次脳 機能障害の支援について」 講師：藤田健三 テーマ③：社会行動障害の診断と治療 講師：大東祥孝

【島根県】

開催日	研修会・講演会の名称 主催者	対象者 参加人数	プログラム内容 講師
H24. 5. 15	平成 24 年度特別支援教 育コーディネーター校 園合同研修（松江市教 育委員会）	幼稚園・幼保 園・小学校・ 中学校特別 支援コーデ ィネーター 他 150 名	講演「高次脳機能障がいについて」 講師 県支援コーディネーター 土江啓悦氏

H24. 6. 4 (東部) H24. 6. 5 (西部)	平成 24 年度市町村障がい福祉業務担当職員研修 (心と体の相談センター)	市町村担当者職員 東部：38 名 西部：28 名	情報提供「高次脳機能障がいについて」 情報提供者 心と体の相談センター 職員
H24. 6. 8	島根県高次脳機能障がい者支援研修会 (島根県・心と体の相談センター・エスポアール出雲クリニック)	高次脳機能障がいに関わる医療福祉関係者・自治体職員等 85 名	講演「島根県の支援体制について」 講師 県支援コーディネーター 土江啓悦氏 講演「高次脳機能障がいの理解と支援」 講師 広島県立障害者リハビリテーションセンター 副高次脳機能センター長 近藤啓太氏
H24. 8. 23	高次脳機能障がい研修会 (亀の子サポートセンター)	支援関係者等 28 名	講演「高次脳機能障がいと神経心理学的検査」 講師 県支援コーディネーター 土江啓悦氏
H24. 8. 23	高次脳機能障がいセミナー (亀の子サポートセンター)	施設職員 33 名	講演「高次脳機能障がいについて」 講師 県支援コーディネーター 土江啓悦氏
H24. 8. 25	第 3 回しまね高次脳機能障害研究会 (しまね高次脳機能障害研究会)	支援関係者等 185 名	基調講演「高次脳機能障害と認知症」 講師 秋田県血管研究センター 神経内科学研修部 研究部長 長田乾氏 事例検討 エスポアール出雲クリニック
H24. 9. 8	しまね高次脳機能障がいリハビリテーション講習会 (しまね高次脳機能障がいリハビリテーション講習会実行委員会)	支援関係者等 121 名	基調講演「高次脳機能障がいを生きる」 講師 日本脳外傷友の会 会長 東川悦子氏 シンポジウム「高次脳機能障がいを生きる」 当事者：森岡拓哉氏 家族：田口礼子氏 支援者：高橋幸男氏 コメンテーター：東川悦子氏 コーディネーター：土江啓悦氏
H24. 9. 19	児童相談所相談部会 (児童相談所)	児童相談所職員 25 名	情報提供「高次脳機能障がいについて」 情報提供者 心と体の相談センター 職員
H24. 9. 26	松江圏域高次脳機能障がい講習会 (厚生センター相談支援事業所)	支援関係者 (ヘルパー等) 38 名	講演「高次脳機能障がいの理解」 講師 県支援コーディネーター 土江啓悦氏
H24. 10. 24	松江圏域高次脳機能障がい講習会 (厚生センター相談支援事業所)	支援関係者 (ヘルパー等) 24 名	講演「高次脳機能障がいの理解」 講師 県支援コーディネーター 土江啓悦氏
H24. 10. 25	第 2 回支援コーディネーター連絡会議 勉強会 (心と体の相談セン	各圏域相談支援拠点事業所、行政、	講演「交通事故の流れ～損害賠償請求の基本」 講師 弁護士 中井克洋氏 (弁護士法人広島メープル法律事務所)

	ター・エスポアール出雲クリニック)	県支援拠関係職員等 29名	講師 助手 小林克至氏 (弁護士法人広島メープル法律事務所)
H24. 11. 2	児童相談所一時保護部 会 (厚生センター相談 支援事業所)	児童相談所 職員 19名	情報提供「高次脳機能障がいについて」 情報提供者 心と体の相談センター 職員
H24. 11. 7	高次脳機能障がい研修 会 (厚生センター)	施設職員 24名	講演「高次脳機能障がいの理解」 講師 県支援コーディネーター 土江啓悦氏
H24. 11. 9	高次脳機能障がい研修 会 (厚生センター)	施設職員 19名	講演「高次脳機能障がいの理解」 講師 県支援コーディネーター 土江啓悦氏
H24. 11. 13	高次脳機能障がい研修 会 (そよかぜ館)	施設職員 32名	講演「高次脳機能障がいの理解」 講師 県支援コーディネーター 土江啓悦氏
H24. 11. 28	松江圏域高次脳機能障 がい講習会 (厚生セン ター相談支援事業所)	支援関係者 (ヘルパー 等)	講演「高次脳機能障がいの理解」 講師 県支援コーディネーター 土江啓悦氏
H24. 12. 1	益田圏域高次脳機能障 がい研修会『家族の大 切さ』(益田市障害者福 祉センターあゆみの 里)	支援関係者 等 60名	講演「家族として今思うこと」 講師 NPO 法人高次脳機能障害サポ-トネットひろしま クラブハウス・シェイキングハンズ 理事長 濱田小夜子氏 対談「家族として、支援者としての関わり方について」 対談者 NPO 法人 高次脳機能障害サポ-トネットひろしま クラブハウス・シェイキングハンズ 理事長 濱田小夜子氏 県支援コーディネーター 土江啓悦氏
H24. 12. 5	平成 24 年度島根県児童 福祉施設職員合同研修 会 (島根県児童福祉施 設職員協議会)	児童福祉施 設職員 40名	情報提供「高次脳機能障がいについて」 情報提供者 心と体の相談センター 職員
H25. 1. 27	第 4 回しまね高次脳機 能障害研究会 (しまね 高次脳機能障害研究 会)	支援関係者 等 200名	基調講演「高次脳機能障害と血管性認知症」 講師 島根大学 学長 小林祥泰氏 事例検討 エスポアール出雲クリニック
H25. 2. 6	平成 24 年度大田圏域 高次脳機能障がい者支 援研修会 (島根県県央 保健所、社会福祉法人 亀の子)	当事者・家 族、医療・福 祉教育行政 機関の職員、 一般住民 120名	演題「高次脳機能障がい者への入院から地域へ 連続したケアの取り組み～デイケアきらりの実 践から～」 講師 医療法人エスポアール出雲クリニック 高次脳機能障害デイケアきらり 管理者 新藤優子氏 事例発表「圏域における病院と地連の連携」 大田市立病院リハビリテーションセンター 言語聴覚士 大畑あかね氏 亀の子サポートセンター 大田圏域支援コーディネーター 坂根勉氏

H25. 2. 16	島根県高次脳機能障がい者支援研修会（島根県・東部島根医療福祉センター）	教育・医療・福祉・行政等支援関係者、当事者・家族 150名	テーマ「子どもの高次脳機能障がいと発達障がい」 講演「心と身体を支えるリハビリテーション」 講師 国立成育医療研究センター 発達評価センター長 橋本圭司氏 事例紹介 東部島根医療福祉センター
H25. 2. 17	高次脳機能障害ファシリテーター養成講座（特定非営利活動法人高次脳機能障害者支援ネット）	支援関係者 50名	1. オリエンテーション 橋本圭司氏 2. 高次脳機能障害の評価法 石松一真氏 3. 高次脳機能障害の看護 梶総淳子氏 4. 高次脳機能障害のリハビリテーション 石川篤氏 5. 高次脳機能障害者の家族支援 野路井未穂氏 6. 島根県における高次脳機能障害支援の現状と課題 高橋幸男氏ほか 7. 高次脳機能障害の当事者として 8. 高次脳機能障害者を支える家族として 9. 集団認知リハビリプログラム「羅心版」 榎間剛氏、橋本圭司氏 10. 自動車保険について

【鳥取県】

開催日	研修会・講演会の名称 主催者	対象者 参加人数	プログラム内容 講師
H24. 4. 25	米子市 Y M C A 医療専門学校	学生 25 人	・「家族体験と高次脳機能障害の支援」 講師：森田多賀枝
H24. 5. 13	島根脳外傷友の会らぶ	会員 20 人	・「鳥取の高次脳機能障害者家族会の活動」 講師：森田多賀枝
H24. 5. 20	全県研修会（家族会）	会員・支援者 32 人	・「障害者生活支援の現状と課題」 講演・話し合い 講師：井上徹（社会福祉法人「まちで暮らす会」理事長）
H24. 7. 8	平成 24 年度第 1 回高次脳機能障がい研修会（支援拠点）	医療・保健・福祉・行政等支援関係者、当事者・家族 151 名	講演：高次脳機能障害者の看護 その人の役割機能に注目しよう！ 講師：日高艶子氏（聖マリア学院大学大学院看護学研究科教授）
H24. 8. 10	鳥取県精神障害者家族会	家族 20 人	・「高次脳機能障害の相談支援活動について」 講師：森田多賀枝
H24. 8. 26	東部地区研修会（家族会）	会員・支援者 13 人	・「地域福祉権利擁護事業・成年後見制度について」 講演・話し合い 講師：坂井（鳥取市社会福祉協議会）
H24. 8. 30	平成 24 年度第 1 回高次脳機能障がい支援普及事業関係者連絡会（鳥取県）	医療・保健・福祉・行政等支援関係者 39 名	講演：高次脳機能障がいと支援について 講師：原田豊氏（鳥取県立精神保健福祉センター一所长） 情報交換、意見交換
H24. 9. 10	米子市民生委員会	委員 30 人	・「高次脳機能障害の相談支援活動について」

			講師：森田多賀枝
H24. 9. 16	西部地区研修会（家族会）	会員・支援者 21人	・「権利擁護事業・成年後見制度について」講演・話し合い 講師：末吉徳二郎（西部後見センターうえるかむ）
H25. 1. 17	鳥取短大専攻科	学生・教員 7人	・「高次脳機能障害と家族会活動・本人の思い」 講師：森田多賀枝・森田恒平
H. 25. 1. 23	平成 24 年度高次脳機能障がい支援者意見交換会（鳥取県）	医療・保健・福祉・行政等支援関係者 13名	活動報告：「高次脳機能がいの者の地域支援の実際について～医療から地域へつなぐ支援～」 ・報告者：川上由加里（支援コーディネーター） 事例検討：「高次脳機能障がいの者の地域支援について」 ・事例提供：今西賀子氏（倉吉市障がい者地域生活支援センターはっぴい 主任相談支援専門員）
H25. 2. 2	平成 24 年度第 2 回高次脳機能障がい研修会（支援拠点）	医療・保健・福祉・行政等支援関係者、当事者・家族 180名予定	講演 1：リハビリテーション部との連携による高次脳機能障害患者の看護 大櫃恵子氏（鳥取大学医学部附属病院脳神経内科病棟 副看護師長） 講演 2：高次脳機能障がいに特化したサロンの取り組みについて～はっぴい 脳トレサロン～ 今西賀子氏（倉吉市障がい者地域生活支援センターはっぴい 主任相談支援専門員） 講演 3：“祝”友人の結婚～どきどきのスピーチ～ 八田直美氏（障害者福祉センター友愛寮 介護員） 講演 4：高次脳機能障害を持つ方の支援 川崎二科氏（中部障がい者地域生活支援センター 相談支援専門員） 講演 5：障害者職業センターにおける就労支援の取り組みについて 荒木邦明氏（鳥取障害者職業センター 主任障害者職業カウンセラー） 講演 6：地域支援における関係機関との連携について～易怒性症状のある事例をとおして～ 阿部恵太氏（鳥取県西部総合事務所福祉保健局 保健師）
H25. 3. 17	シンポジウム「自立生活への最初の一歩」（「自立生活への最初の一歩」実行委員会）	当事者・家族 医療・福祉関係者・一般 100人予定	当事者によるパネルディスカッション 今日の活動に果たした役割の検証 当事者によるミニコンサート 講師（当事者）足立絹子 大羽和弘 村田和也（当事者家族） 福本真理子 森田（関係者） 砂原久枝 井上徹 中川健作

【広島県】

開催日	研修会・講演会の名称	対象者	プログラム内容
-----	------------	-----	---------

	主催者	参加人数	講師
H24. 5. 16	ときわ台ホーム職員研修	施設スタッフ 40名	高次脳機能障害について 作業療法士 大知麻美 言語聴覚士 林加容
H24. 6. 8	島根県高次脳機能障害支援拠点機関講習会	医療福祉関係者 100名	高次脳機能障害の理解と支援 副高次脳機能センター長 近藤啓太
H24. 6. 18	特別支援学校センター的機能研修会	特別支援教育コーディネーター 25名	高次脳機能障害について コーディネーター 隅原聖子
H24. 6. 20	あいサポート研修	世羅町福祉関係者 50名	高次脳機能障害とお付き合いのポイントについて コーディネーター 隅原聖子
H24. 7. 6	特別支援学校センター的機能研修会	特別支援教育コーディネーター 25名	高次脳機能障害について コーディネーター 隅原聖子
H24. 7. 11	介護労働安定センター研修会	介護士 100名	高次脳機能障害の理解と支援のコツ 副高次脳機能センター長 近藤啓太
H24. 7. 20	就労支援ネットワーク研修会（福山合同庁舎）	就労支援関係者 50名	高次脳機能障害について コーディネーター 高上清人
H24. 8. 18	聖恵会職員研修	施設スタッフ 50名	高次脳機能障害を持つ方たちの援助について考える 作業療法士 福田奈津子
H24. 8. 24	障害程度区分認定調査員研修（現任研修）	認定調査員 24名	高次脳機能障害の特性について コーディネーター 隅原聖子
H24. 8. 28	みとう温泉職員研修	施設スタッフ 5名	高次脳機能障害を理解するために 作業療法士 富田昭
H24. 8. 30	障害程度区分認定調査員研修（現任研修）	認定調査員 24名	高次脳機能障害の特性について コーディネーター 隅原聖子
H24. 8. 30	企業内ジョブサポートリーダー養成研修	企業内担当者 24名	身体障害・高次脳機能障害の特性理解と職場での対応方法 コーディネーター 高上清人
H24. 9. 6	若草療育園研修	施設スタッフ 20名	高次脳機能障害について コーディネーター 隅原聖子
H24. 9. 12	時計台職員研修	施設スタッフ 50名	高次脳機能障害を持つ方たちの援助について考える 作業療法士 福田奈津子

H24. 10. 11	広島市総合リハビリテーションセンター職員研修	施設スタッフ 100名	広島県高次脳機能センターの紹介 副高次脳機能センター長 近藤啓太
H24. 10. 18	指導主事等協議会 (広島県教育委員会)	教育委員会 指導主事 100名	高次脳機能障害について コーディネーター 隅原聖子
H24. 10. 18	世羅町ケアマネジャー研修会	ケアマネジャー50名	高次脳機能障害とお付き合いのポイントについて コーディネーター 隅原聖子
H24. 10. 24	企業内ジョブサポートリーダー養成研修	企業内担当者 30名	身体障害・高次脳機能障害の特性理解と職場での対応方法 コーディネーター 高上清人
H24. 11. 3	愛媛県高次脳機能障害支援拠点機関講習会	相談員など 50名	圏域を越えて関わった事例について コーディネーター 隅原聖子
H24. 11. 11	あいサポート研修 (広島県)	広島県企業局企業総務課 60名	「社会の一員として地域で暮らすこと」～高次脳機能障害を例にして考える～ コーディネーター 隅原聖子
H24. 12. 4	精神保健福祉相談員資格取得講習会	精神保健福祉相談員 60名	「高次脳機能障害について」 副高次脳機能センター長 近藤啓太 コーディネーター 隅原聖子
H24. 12. 8	平成24年度高次脳機能障害研修会 (広島県リハビリテーション講習会実行委員会)	当事者、家族、専門機関の方 213名	「高次脳機能障害者支援について」 ～家族会の立ち上げから現在まで～ 神奈川リハビリテーション病院 前リハビリテーション局長 大橋 正洋 「広島県における高次脳機能障害対策～小児支援の実際～」 広島県立障害者リハビリテーションセンター 副高次脳機能センター長 近藤 啓太 「小児の高次脳機能障害」 ～発達障害とちがうところ・同じところ～ 神奈川県総合リハビリテーションセンター 小児科部長 栗原 まな
H25. 1. 25	就業・生活支援センター連絡会	就業支援ワーカー 24名	高次脳機能障害について 臨床心理士 澤田梢
H25. 1. 30	障害者相談支援従事者現任研修	相談支援従事者 120名	地域生活支援事業の取り組み事例 コーディネーター 隅原聖子
H25. 2. 13	企業内ジョブサポートリーダー養成研修	企業内担当者	身体障害・高次脳機能障害の特性理解と職場での対応方法 コーディネーター 高上清人

【山口県】

開催日	研修会・講演会の名称 主催者	対象者 参加人数	プログラム内容 講師
-----	-------------------	-------------	---------------

H24.4.23	ソーシャルワーク演習 (山口県立大学)	社会福祉学部大 学生等 106人	「高次脳機能障害の基礎知識」 「退院して気づいた生活上の障害」 講師： 石原弥生（支援コーディネーター） 当事者
H24.4.28	光市介護支援専門員連 絡協議会講演会 (光市介護支援専門員 連絡協議会)	介護支援専門員 30人	「高次脳機能障害について」 講師： 石原弥生（支援コーディネーター）
H24.5.21	OT3年生授業 (山口コ・メディカル 学院)	作業療法学生 16人	「高次脳機能障害の就労支援」 講師： 石原弥生（支援コーディネーター） 当事者
H24.6.4	済生会山口地域連携セ ミナー (済生会山口総合病 院)	地域医療機関関 係者 42人	「高次脳機能障害について」 講師： 石原弥生（支援コーディネーター）
H24.7.28	高次脳機能障害支援研 修会 (山口県身体障害者福 祉センター)	医療保健福祉関 係者 208人	「生活を立て直す脳のリハビリ」 「支援事例をとおして地域支援を考える」 講師： 中島恵子（帝京平成大学大学院教授）
H24.9.12	定例会での研修 (防府市地域精神保健 研究会)	医療保健福祉関 係者 30人	「高次脳機能障害について」 講師： 石原弥生（支援コーディネーター）
H24.11.18	山口県リハビリテーシ ョン講習会 (山口県リハビリテー ション講習会実行委員 会)	当事者家族、一 般、関係者等 230人	「私の脳梗塞とリハビリテーション」 講師： 関啓子（神戸大学大学院客員教授） 「高次脳機能障害者の地域リハビリテーシ ョン」 講師： 長谷川幹（三軒茶屋リハビリテーションクリ ニック院長）
H24.12.14	地域職業リハビリテー ション推進フォーラム (山口県身体障害者福 祉センター・山口障害 者職業センター)	就労に係る支援 者 63人	「高次脳機能障害者の特性と支援ポイント」 「事例検討」 講師： 中山寛人（山口県立こころの医療センター医 師）
H24.6.4 H24.6.11 H24.6.18 H24.7.2 H24.9.3	やまぐちリハビリの会 とコラボ演習 (山口県身体障害者福 祉センター・山口県立 大学)	社会福祉学部学 生等 延べ73人	「高次脳機能障害の基礎知識」 「認知課題の企画進行について」 「グループワークの進め方」 「やまぐちリハビリの会の企画・進行」 講師： 石原弥生（支援コーディネーター） 本幡一貴（支援コーディネーター）
H24.6.9 H24.8.11 H24.12.8	高次脳機能障害の勉強 会 (山口県作業療法士	作業療法士等 延べ65人	「精神疾患の視点から認知障害をみる」 「多面的視点から認知障害をみる」 「就労支援の立場から認知障害をみる」

	会)		講師： 石原弥生（作業療法士） 作業療法士
--	----	--	-----------------------------

D. 考察ならびに結論

中国ブロックの拠点は県ごとに母体となる施設特裁が異なる。すなわち、大学が2県（岡山県，鳥取県），精神科施設2県（島根県，山口県），リハビリセンター1県（広島県）である。全国協議会で議論させている支援の均霑化を地域で達成するためには，特に小児高次脳機能障害者への対応と，失語症者への対応については，拠点施設の機能として有していない施設もあるため，各県ごとに連携体制の構築が必要と考えられる。

F. 研究発表

1. 論文発表

- ・ 丸石正治：頭部外傷，今日のリハビリテーション指針，医学書院 2013（印刷中）。
- ・ 丸石正治：ファンクショナルMRIによるびまん性軸損傷患者の前頭葉機能の検討。高次脳機能障害研究 32：237-243, 2012
- ・ 丸石正治：リハビリテーション医学，人間工学ハンドブック，朝倉書店 2013（印刷中）。

・

2. 学会発表

- ・ 外傷性脳損傷の就労予測因子の検討。第35回日本脳神経外傷学会シンポジウム，丸石正治

G. 知的財産権の出願・登録

特になし

厚生労働科学研究費補助金（障害者対策総合研究事業）

（分担）平成 24 年度研究報告書

高次脳機能障害者の社会参加支援の推進に関する研究

研究分担者 蜂須賀 研二 産業医科大学リハビリテーション医学講座・教授

研究要旨：①九州各県で高次脳機能障害支援を推進するために、九州各県から 12 名の九州ブロック委員を選任し、行政担当者と合同でブロック会議を開催した。ブロック会議には、ブロック委員、支援コーディネイター、行政担当者などが参加して、各県における研修会の内容、地域生活支援体制や支援実施状況等を報告し討論した。九州地区では 14 箇所の支援拠点機関を中心として、支援コーディネイターは（一部、医師や担当者を含む）35 名が配置され、相談件数は電話 3,186 件、来所 1,827 件、メール・書簡 233 件、その他 184 件であり、合計すると 5,430 件であった。また、各県内で主催した連絡会や協議会は 89 回、参加者 644 人であり、研修事業は 35 回、参加者は 2,984 人であった。②産業医科大学では高次脳機能障害者の地域生活支援の一環として、a) 社会復帰準備のためのリハビリテーション学級を 10 回開催、b) 脳損傷者 41 名において神経心理学的検査とその後の運転実施状況を検討 c) 長時間の注意持続評価法として外傷性脳損傷者 11 名の P300 の振幅変化を検討、d) 脳受容体シンチグラフィによる画像評価の検討、等を実施した。

A. 研究目的

九州各県内に少なくとも 1 名のブロック委員を任命し、支援コーディネイターと協力して高次脳機能障害支援システムを確立させ、各種相談や連絡会・協議会および研修会・研究会を開催し、より適切な支援活動を行うこと、また、産業医科大学では高次脳機能障害支援に直接関係する臨床研究を実施して、その結果を高次脳機能障害支援推進に活用するとともに、広く成果を公表して高次脳機能障害者および家族に還元することを目的とした。

B. 研究方法

九州各県を代表する医療関係者にブロック委員を依頼し、ブロック委員は行政担当者、支援コーディネイターと協力して地域生活支援推進と体制構築を図る。また、ブロック委員、行政担当者、支援コーディネイターが合同で開催する九州ブロック会議に参加して、それぞれの県における高次脳機能障害地域支援体制や実施状況に関する情報を交換し、相互に進捗状況や実施状況を確認し、支援推進と体制構築に役立てる。年度末にブロック委員および支援コーディネイターからの活動報告を基に集計する。

産業医科大学で実施した高次脳機能障害に関する臨床研究の方法は以下の通りである。

1. 社会復帰準備のためのリハビリテーション学級

水曜日の午後、約2時間30分の設定で10回、意欲の向上、障害理解の促進、社会技能向上などを目的とした集団訓練を実施した。内容は、スタッフが交代ではじめに話題提供の挨拶、医師による小講義、臨床心理士による社会技能訓練、人と人との関係を重視したレクリエーションとした。

2. 神経心理学的検査とその後の運転実施状況

当科で各種神経心理学的検査を行った脳損傷者41名について、検査から平均33ヵ月後の運転実施状況を質問紙郵送によって調査した。神経心理学的検査の結果を運転群・非運転群で比較(t検定)したところ、WAISの動作性IQ、全IQ、Rey複雑図形、CATのSDMT、PASAT1秒条件、Position stroop testの所要時間、CPT X課題の平均反応時間、TMT-AとBにおいて運転群で有意に成績が良好であった。

3. 高次脳機能障害者の復職評価のための注意持続検査

長時間の注意持続評価法として、750回刺激による聴覚オドボール課題時のP300を、外傷性脳損傷者11名に実施した。前期と中期、後期を比較した結果では前帯状回にあたる部位での変化が最も大きく、昨年度に報告した健常者14名と類似した結果であった。

4. 脳受容体シンチグラフィ

高次脳機能障害精査と脳受容体シンチグラフィを実施した外傷性脳損傷者11名を対象に検討した。診察と神経心理学的検査で高次脳機能障害と診断された10症例には脳受容体シンチグラフィにて両側前頭葉内側に集積低下を

認め、高次脳機能障害ではないと診断した1例では同部位の集積低下を認めなかった。

5. 簡易心理検査の青年標準値

15～30歳の健常青年124名を対象に簡易心理検査(Trail making Test、Wisconsin Card Sorting Test 慶應F-S版、三宅式記銘力検査)の青年標準値を設定し、投稿中である。

C. 研究結果

1. 九州ブロックの研究成果

1) 九州ブロック会議

厚生労働省「高次脳機能障害者の地域生活支援」研究班の趣旨に従い、昨年に引き続き各県1名(佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県)、高次脳機能障害のリハを実践している代表的立場の医師にブロック委員を依頼した。なお、福岡県は高次脳機能障害支援モデル事業に参加した拠点機関の3名をブロック委員、1名をオブザーバーとし、さらに事務局委員を2名とした。全体としてブロック委員は12名とした。

福岡県:

・北九州市 産業医科大学リハ医学講座・
教授 蜂須賀研二

・福岡市 福岡市立心身障がい福祉センター・
神経内科医師 黒田智美

・筑後地区 久留米大学高次脳疾患研究所・
教授 森田喜一郎

・福岡県域 福岡県身体障害者リハセンター・
センター長 塚本清久(オブザーバー)

佐賀県:佐賀大学・教授 浅見豊子

長崎県:長崎大学・教授 松坂誠應

熊本県:熊本大学精神科・助教 橋本 衛

大分県:諏訪の杜病院・院長 武居光雄

宮崎県:宮崎大学・教授 帖佐悦男

鹿児島県:鹿児島大学大学院・教授 浜田博文

沖縄県:ちゅうざん病院・院長 田中正一

【事務局委員】

産業医科大学リハ医学 講師 岡崎哲也

産業医科大学病院 高次脳機能障害支援

コーディネーター 甲斐明子

【事務局】

産業医科大学リハビリテーション医学講座

〒807-8555 北九州市八幡西区医生ヶ丘

1-1 Tel 093-691-7266

平成 24 年度厚労省科研費研究班九州ブロック会

議・高次脳機能障害支援担当者会議

日程:平成 24 年 7 月 20 日

吉塚合同庁舎

(1)「研究班の平成 24 年度事業」

国立障害者リハビリテーションセンター

中島 八十一 学院長

(2)「千葉県高次脳機能センター開設の経緯」

千葉県千葉リハビリセンター

吉永勝訓 センター長

(3)「各県の取り組み状況」(平成 23 年度の成果

および 24 年度の事業計画)

福岡県、佐賀県、長崎県、大分県、熊本県、鹿児島県、宮崎県、沖縄県の支援コーディネーターが各県における研修会の開催、地域生活支援や実施状況等に関して報告した。全ての県に支援拠点機関が開設され、支援コーディネーターが配置されている。今後は支援内容や提供できるサービスの質を向上させる必要がある。

2)九州地区の活動の概要

本年度で九州全県に少なくとも 1 カ所以上の高次脳機能障害支援拠点機関が設置され合計 14 カ所となった。高次脳機能障害支援コーディネーターは各機関に 1 名以上配属され、合計 35 名であ

った(サブコーディネーター7名を含む)。

相談件数は電話 3,186 件、来所 1,827 件、メール・書簡 233 件、その他 184 件であり、合計すると 5,430 件であった。また、各県内で主催した連絡会や協議会は 89 回、参加者 644 人であり、研修事業は 35 名、参加者は 2,984 人であった。

各県の高次脳機能障害支援拠点機関と支援コーディネーター(含む担当医、担当者)を下記に示す。

福岡県

- 福岡県身体障害者リハビリテーションセンター

〒811-3113 古賀市千鳥3-1-1

TEL 092-944-1041

下濱和義(社会福祉士)

澁川理美(社会福祉士)

- 産業医科大学病院

〒807-8555 北九州市八幡西区医生ヶ丘

1-1

TEL 093-603-1611(代)

甲斐明子(臨床心理士)

上原純子(臨床心理士)

- 久留米大学病院 高次脳疾患研究所

〒830-0011 福岡県久留米市旭町67

TEL 0942-35-3311(代)

弥吉江理奈(精神保健福祉士)

- 福岡市立心身障がい福祉センター

(あいあいセンター)

〒810-0072 福岡市中央区長浜1-2-8

TEL 092-721-1611

和田明美(理学療法士)

佐賀県

- 佐賀大学医学部附属病院

先進総合機能回復センター

(リハビリテーション科)

〒849-8501 佐賀市鍋島 5-1-1

TEL 0952-34-3285

小野茂伸(言語聴覚士)

長崎県

- 長崎こども・女性・障害者支援センター

〒852-8114 長崎市橋口町10-22

TEL 095-844-5515

井戸裕彦(作業療法士)

熊本県

- 熊本大学医学部附属病院神経精神科 熊本県高次脳機能障害者支援センター

〒860-8556 熊本市本荘1-1-1

TEL 専門ホットライン 096-272-5784

田中希(精神保健福祉士)

平成24年度 高次脳機能障害支援拠点機関における相談支援実績 (H24年4月1日～H25年3月31日分)

都道府県	機関名	直接相談のべ件数				間接相談のべ件数				備考
		電話	来院/ 来所	メー ル・書 簡	その他 (訪 問・出 張・同 行等)	電話	来院/ 来所	メー ル・書 簡	その他 (訪 問・出 張・同 行等)	
福岡県	福岡県身体障害者リハビリテーションセンター	56	38	4	17	84	20	1	1	
福岡県	産業医科大学病院	76	121	0	0	164	25	0	4	
福岡県	福岡市立心身障がい福祉センター	130	112	18	17	211	17	1	8	
福岡県	久留米大学病院	116	142	1	1	67	9	7	0	
佐賀県	佐賀大学医学部附属病院	73	276	3	6	44	125	0	1	
長崎県	長崎こども・女性・障害者支援センター	141	79	4	32	217	13	22	0	
熊本県	熊本県高次脳機能障害支援センター	266	213	37		308	3	108	25	
大分県	諏訪の杜病院	174	159	0	8	129	29	9	17	
大分県	社会福祉法人農協共済別府リハビリテーションセンター	70	73	12	2	59	13	2	1	
宮崎県	宮崎県身体障害者相談センター	52	26	0	0	51	13	0	3	
宮崎県	宮崎大学医学部附属病院	1	8	0	0	2	14	0	0	
鹿児島県	精神保健福祉センター	126	51	3	2	107	8	1	2	
沖縄県	平安病院	97	125	0	24	132	10	0	8	
沖縄県	沖縄リハビリテーションセンター病院	72	82	0	0	161	23	0	5	
合計		1,450	1,505	82	109	1,736	322	151	75	5,430

大分県

- 社会福祉法人 農協共済別府リハビリテーションセンター

実践リハビリテーション部

社会復帰支援課

〒874-0840 大分県別府市鶴見1026-10

TEL 0977-67-1711(代)

安藤靖浩(精神保健福祉士)

- 医療法人 光心会 諏訪の杜病院

〒870-0945 大分県大分市津守 888-6

TEL 097-567-1277(代)

浅倉恵子(作業療法士)

宮崎県

- 宮崎県身体障害者相談センター

〒880-0032 宮崎県宮崎市霧島 1-1-2

TEL 0985-29-2556

富永昌志(一般行政)

中村久子(保健師)

鹿児島県

- 鹿児島県高次脳機能障害者支援センター
〒890-0021 鹿児島小野 1-1-1
TEL 099-228-9568
尾上佳代子(保健師)

沖縄県

- 沖縄リハビリテーションセンター病院
高次脳脳ダイケア
沖縄県沖縄市比屋根2-15-1
TEL 098-982-1863
鈴木里志(作業療法士)
平良 淳子(精神保健福祉士)
- 医療法人へいあん 平安病院
地域連携係
〒901-2127 沖縄県浦添市字経塚346番地
TEL 098-877-6467(内線230・237)
赤嶺洋司(臨床心理士)
新垣香織(精神保健福祉士)
伊井統章(精神保健福祉士)

3)各県の活動成果の報告

福岡県

<支援拠点(協力)機関名>

福岡県身体障害者リハビリテーションセンター

〒811-3113

古賀市千鳥3丁目1番1号

TEL 092-944-1041

- 参加者29名(オブザーバー含む)
4. 第2回ネットワーク会議
- 平成25年 2月 4日(月)
 - 吉塚合同庁舎 特5会議室(福岡市)
 - 参加者 6名

【相談支援コーディネーター(職種)】

下濱 和義 (社会福祉士)
澁川 理美 (社会福祉士)

【相談事業】

合計 221件

内訳：新規相談 158件

電話	103件
来所	33件
訪問	18件
メール	4件

：継続支援 63件

電話	37件
来所	25件
メール	1件

【主催した連絡会・協議会】

- 第1回ネットワーク会議
 - 平成24年 6月21日(金)
 - 福岡県庁行政棟(福岡市)
 - 参加者 7名
- 第1回高次脳機能障害相談支援体制連携調整委員会
 - 平成24年 7月20日(金)
 - 吉塚合同庁舎 特5会議室(福岡市)
 - 参加者32名(オブザーバー含む)
- 第2回高次脳機能障害相談支援体制連携調整委員会
 - 平成25年 2月 4日(月)
 - 吉塚合同庁舎 特5会議室(福岡市)

【主催した研修事業】

- 高次脳機能障害支援実践セミナー(行政関係者編)
 - 平成24年 9月 3日(月)
 - 北九州市障害福祉センター
 - 参加者66名
 - 概要

- (1) 「高次脳機能障害支援事業について」
講師： 真子 美和 技術主査
(福岡県保健医療介護部こころの健康づくり推進室)
- (2) 「高次脳機能障害とは」基礎編 (講演)
講師： 岩永 勝 氏
(産業医科大学リハビリテーション医学講座 講師)
- (3) 「高次脳機能障害相談支援の紹介」
(支援拠点機関からの報告)
福岡県身体障害者リハビリテーションセンター
産業医科大学病院
久留米大学病院
福岡市立心身障がい福祉センター
- 2) 高次脳機能障害支援実践セミナー(医療・福祉・教育等従事者編)
- ・平成24年11月 9日(金)
 - ・クローバープラザ508A・B研修室(春日市)
 - ・参加者127名
 - ・概要
 - (1) 「高次脳機能障害者の社会復帰について」(講演)
講師： 岡崎 哲也 氏
(産業医科大学リハビリテーション医学講座 講師)
 - (2) 「当事者・家族からの話」
当事者及び家族
 - (3) 「高次脳機能障害への支援事例の紹介(支援拠点機関からの報告)」
福岡市立心身障がい福祉センター
福岡県身体障害者リハビリテーションセンター
産業医科大学病院
久留米大学病院
- 3) 高次脳機能障害講演会
- ・平成24年12月 9日(日)
 - ・クローバープラザ クローバーホール(春日市)
 - ・参加者名113名
 - ・概要
「子どもの高次脳機能障害について」(講演)
講師： 太田 令子 氏
(千葉県千葉リハビリテーションセンター 高次脳機能障害支援センター 支援センター長)
- 【主催したケース会議、勉強会、研究会、家族会、交流会等】

なし

【協力した会合】

- 高次脳機能障害支援者研修会
- ・平成24年11月30日(金)
 - ・北九州市総合保健福祉センター
 - ・高次脳機能障害者のリハビリテーション～リハビリテーション施設の一日
 - ・講師派遣：高次脳機能障害支援コーディネーター：下濱 和義
 - ・参加者名138名

【活動内容】

- ◇専門相談ホットラインによる相談受付
 - ◇広報・啓発
ホームページに掲載
関係機関・病院を訪問しリーフレットを配布
 - ◇自立訓練(生活訓練)を希望する利用者の受け入れ
(定員12名、平成25年3月現在15名)
 - ◇家族支援相談会の開催
福岡県身体障害者リハビリテーションセンター(5回)
クローバープラザ(4回)
県保健福祉(環境)事務所(3回)
- 【事業課題】
- 関係機関とのネットワーク作り
自立訓練(生活訓練)事業の見直し

<支援拠点(協力)機関名>

産業医科大学病院
〒807-8556
北九州市八幡西区医生ヶ丘1-1
TEL: 093-603-1611

【相談支援コーディネーター(職種)】

甲斐明子(臨床心理士)
上原純子(臨床心理士)

【相談事業】

- ◇当事者/家族からの直接相談の件数
合計 197件

内訳：電話 76件
 来院／来所 121件
 メール・書簡 0件
 その他 0件

◇機関・施設等からの間接相談のべ件数 合計 193件

内訳：電話 164件
 来院／来所 25件
 メール・書簡 4件
 その他 0件

【主催した連絡会・協議会】

1. 合同会議：平成24年度厚労省科研費研究班九州ブロック会議・高次脳機能障害支援担当者会議（行政関係者）を開催

1) 第1回厚労省科研費研究班九州ブロック会議・高次脳機能障害支援担当者会議（行政関係者）

平成24年7月20日 吉塚合同庁舎
 参加者44名

- (1) 「研究班の事業」
 国立リハビリテーションセンター
 学院長 中島八十一
- (2) 「千葉県高次脳機能センター開発の経緯」
 千葉リハビリテーションセンター センター長 吉永勝訓
- (3) 「各県の取り組み状況」
 福岡県、佐賀県、長崎県、大分県、熊本県、
 鹿児島県、沖縄県、宮崎県より

2) 第1回厚労省科研費研究班九州ブロック支援コーディネーター会議

平成24年7月20日 吉塚合同庁舎
 参加者16名

- (1) 各県の取り組みの発表及び意見交換
- (2) 生活支援、就労支援、困難事例等について
 検討

【主催した研修事業】

1. 産業医科大学リハビリテーション講習会の開催

1) 第14回産業医科大学リハビリテーション講習会

平成25年2月9日 産業医科大学ラマツィーニホール 124名

(1) 特別講演

座長：産業医科大学リハビリテーション医学講座 講師 岡崎哲也

「遂行機能障害の理解と訓練・支援」

神戸大学大学院保健学研究科

教授 種村留美

(2) 患者会より

「翼の会の紹介と当事者・家族の思い」

NPO法人 福岡・翼の会 林由紀子

(3) 「当院で実施している自動車運転適性評価」

産業医科大学リハビリテーション医学講座

助教 加藤徳明

(4) シンポジウム

座長：産業医科大学リハビリテーション医学講座 講師 岡崎哲也

北九州市保健福祉局障害福祉部障害福祉

センター 片山充

「高次脳機能障害者の就労～作業所での仕事と工夫～」

NPO法人コネクト

障害福祉サービス事業所

「癒とりの里」 支援員 春本翔

特定非営利活動法人 ひこうせん 指導員 東野友美

【主催したケース会議、勉強会、研究会、家族会、交流会等】

1. TBIカンファレンスの開催